

No22 - No24 各種構造

- No22 ポルストレストコンクリート構造
- 1. ポルストレストコンクリート柱の部材種別 初
 - 2. PC鋼材のラクスレシオン R01
 - 3. PC鋼材の曲げ半径 初
 - 4. たわみを算定する場合の変形増大係数 初

- No23 合成構造, 混合構造
- 1. 合成梁 初 関連 R01
 - 2. 鉄骨鉄筋コンクリート構造の柱脚 R01
 - 3. 鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁の接合部 初 関連 H28.R03
 - 4. 鉄筋コンクリート造のコアを有する混合構造 初 関連 H29

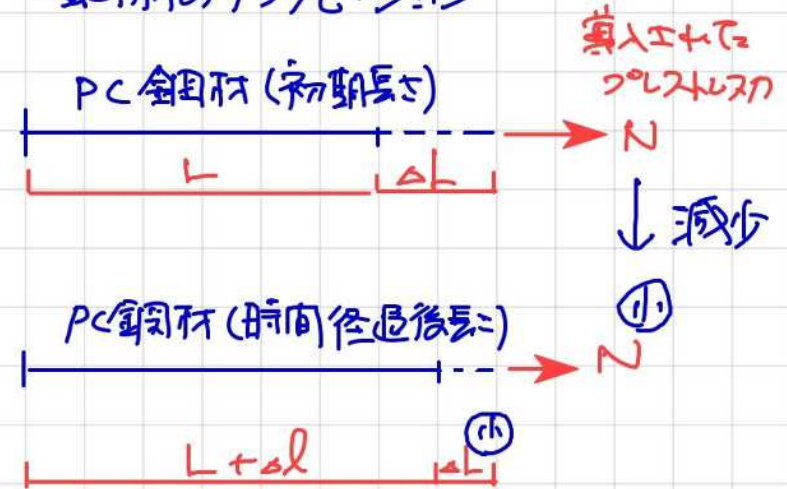
- No24 耐震構造, 制振構造
免震構造
- 1. 構造特性 D_s とは 初 関連 99 数
 - 2. 鋼材ダンパーのエネルギー吸収能力 H28.H30.R03
 - 3. ダンパーの接合部及び周辺部材 初 関連 R04
 - 4. 積層ゴムアイル-9の変形と水平剛性 初

No22 プレストレストコンクリート構造 (PC構造)

2. PC鋼材のリラクゼーション

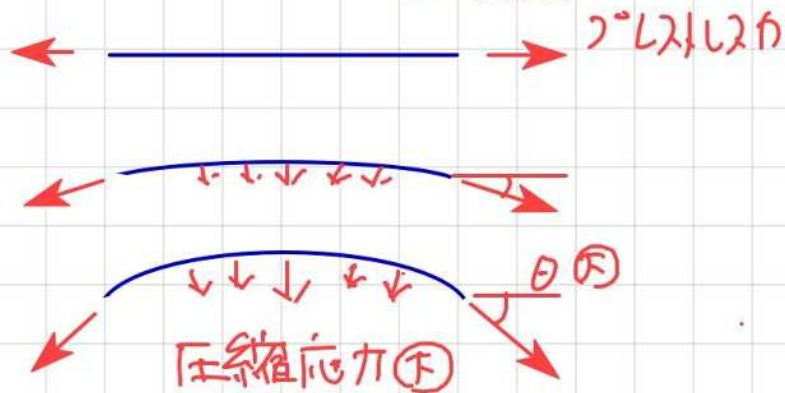
1. プレストレストコンクリート柱の部材種別

部材の靱性を示す
FA ~ FD に分類



3. PC鋼材の曲げ半径

PC鋼材

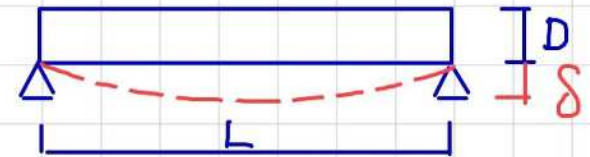


4. たわみ計算する場合の変形増大係数

8条 ④項

使用上の支障が超えなからこの検証

例



RC梁 $D \geq L/10$ or $8 \times \delta \leq L/250$

変形増大係数
(クリープ変形考慮)

PC梁の変形増大係数

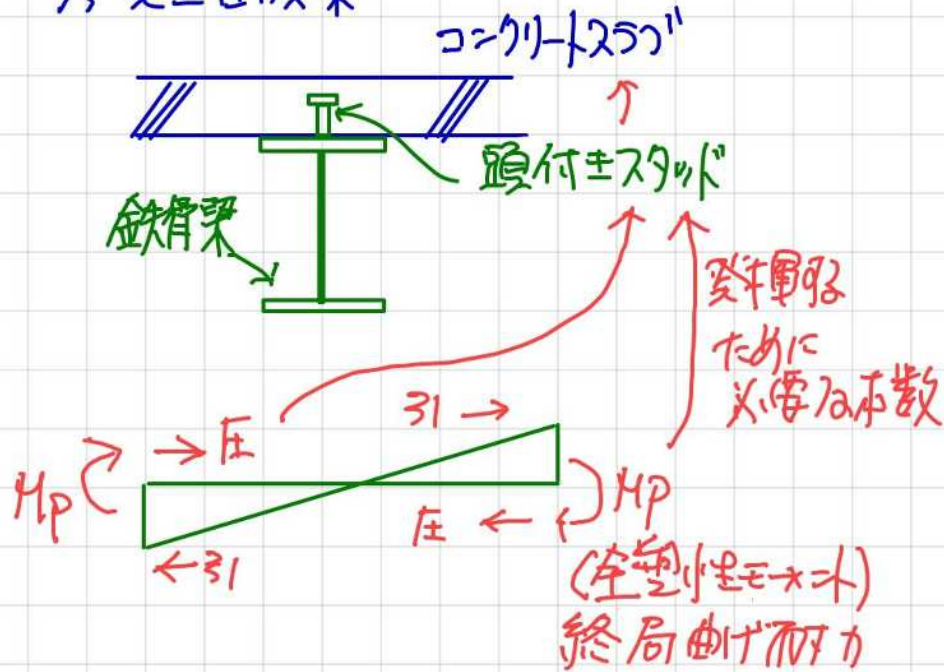
$= 8 - 4 \times \lambda^2$

(λ : PC鋼材の巻与率)

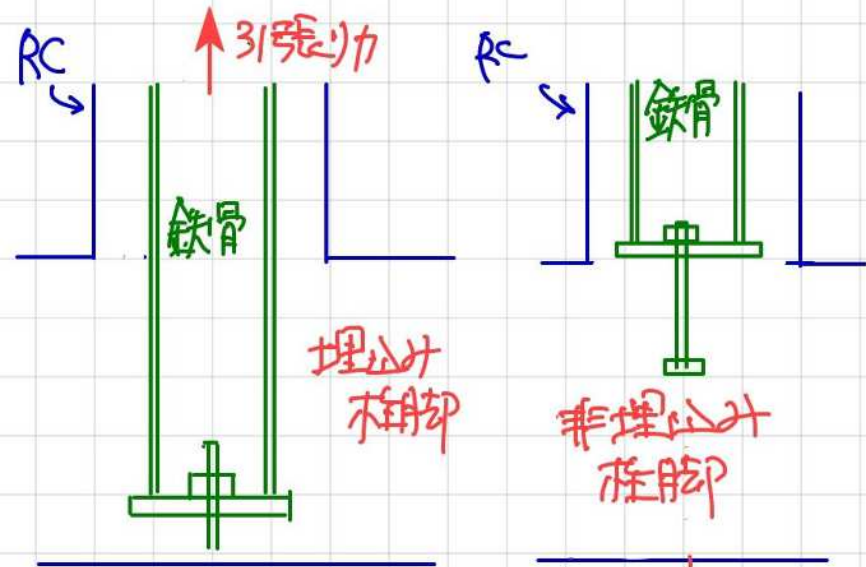
クリープ変形 (①)

No23 合成構造, 混合構造

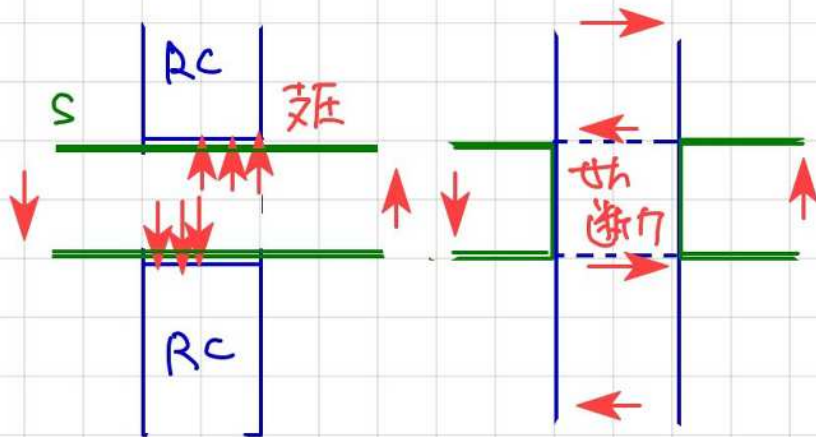
1. 完全合成梁



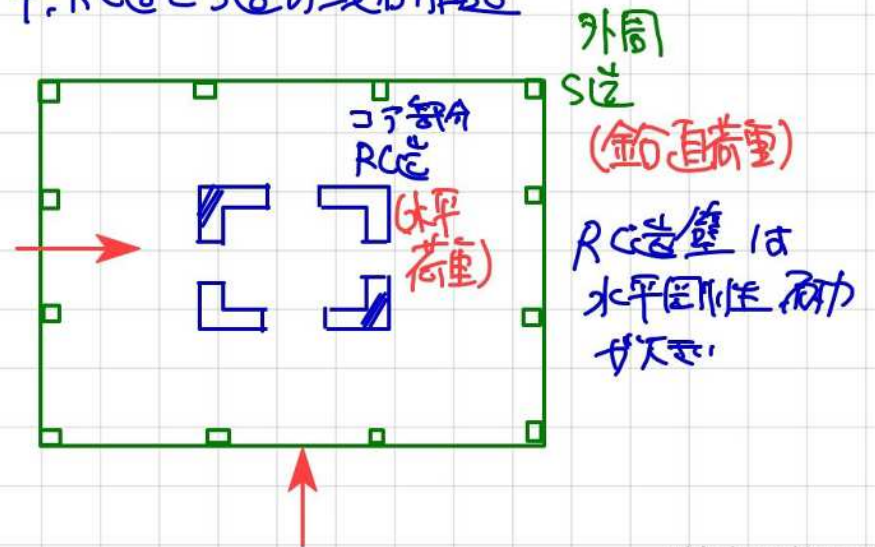
2. 鉄骨鉄筋コンクリート構造の柱脚



3. 鉄筋コンクリート柱・鉄骨梁の柱梁接合部



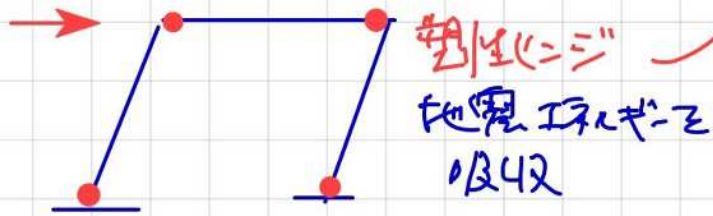
4. RC造とS造の混合構造



No24. 耐震構造, 制振構造, 免震構造

1. 構造特性係数 $D_s =$ 架構の靱性に
応じて決まる

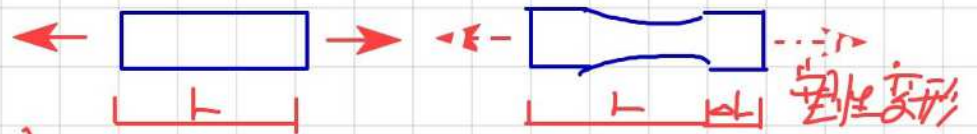
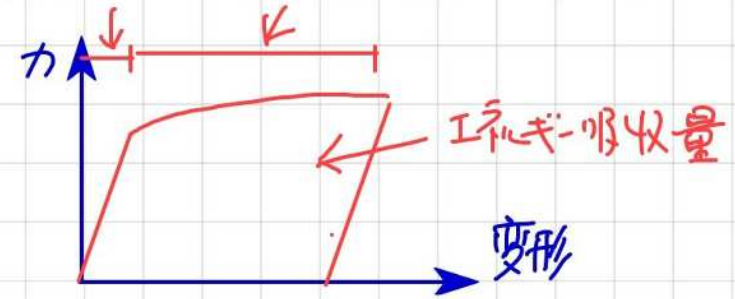
必要保有水平耐力
= 地震によって生じる力 $\times D_s \times F_{es}$



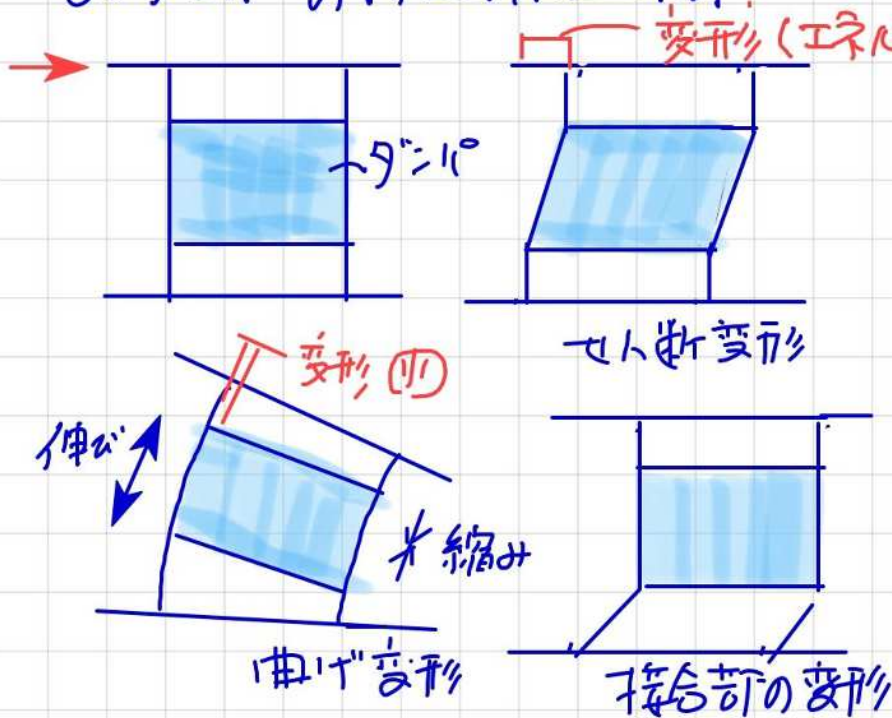
塑性変形 (天)
 D_s (川)

2. 鋼材ダンパーのエネルギー吸収能力

弾性変形 塑性変形によりエネルギー吸収



3. ダンパーの接合部, 周辺部材



4. 積層ゴムパイルの变形と水平剛性

「ヒドニング現象」 変形

